

# EU Indicators

発表日:2020年12月2日(水)

## 欧州経済指標コメント:11月ユーロ圏消費者物価

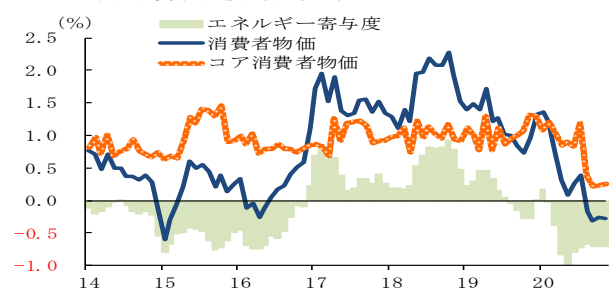
～都市封鎖再開による下押し回避も低空飛行を継続～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (TEL:03-5221-4527)

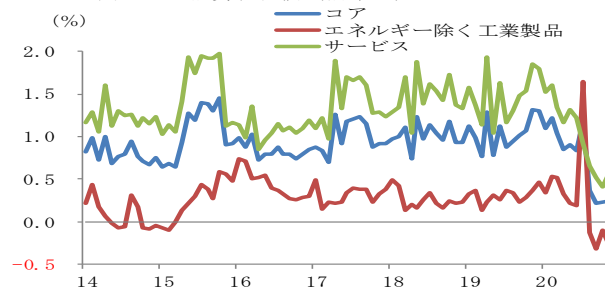
- 1日に発表された11月のユーロ圏の消費者物価の速報値は、前年比▲0.3%と4ヵ月連続で前年割れ。速報段階で入手可能な内訳は、エネルギー価格による物価の押し下げが続くなか、食料・アルコール・たばこコア物価（食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く）の上昇率が夏場以降大きく鈍化したことが、物価マイナス転落の原因。こうした構図は過去数ヵ月不変。
- コア物価の伸び率は8月（同+0.4%）に上昇率が大きく鈍化し、統計開始以来の最低水準を更新した後、9月（同+0.2%）に一段と水準を切り下げ、その後は横ばい圏で推移している。四捨五入前では9月をボトムに僅かながら上昇率が加速（9月：同+0.21%→10月：同+0.23%→11月：同+0.25%）。細かい内訳は17日の確報で公表されるが、エネルギーを除く工業製品価格のマイナス幅が再加速した一方（同▲0.3%→同▲0.1%→同▲0.3%）、サービス価格がやや持ち直した（同+0.5%→同+0.4%→同+0.6%）。
- 8月に物価がマイナス圏に転落した際は、①コロナ禍による需要低迷の影響に加えて、②ドイツの付加価値税率引き下げ、③一部の国での夏季商戦の後ずれが指摘された。①については11月に入って多くの国が都市封鎖を再開、その影響が今回の計数にどの程度反映されているかは十分な検証材料がない。春に比べて都市封鎖の対象が限定的なうえ、コア物価が横這い圏で推移していることから、①による今回の追加的な押し下げはそれほど大きくならない可能性がある。②については12月まで物価を下押しし（ユーロ圏の計数を▲0.3～▲0.4%ポイント程度下押し）、③については9月以降も目立った反動が見られない。

■ユーロ圏:消費者物価（前年比）



注：コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く  
出所：Eurostat

■ユーロ圏：コア消費者物価（前年比）



注：コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く  
出所：Eurostat

■ユーロ圏の消費者物価 (%)

	2019			2020			2020										
	4Q	1Q	2Q	3Q	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		
消費者物価（前期比）	0.3	0.1	-0.4	-0.0	0.1	0.0	-0.3	-0.2	-0.1	0.2	0.2	-0.5	-0.0	0.1	0.1		
（前年比）	1.0	1.1	0.2	-0.0	1.4	1.2	0.7	0.3	0.1	0.3	0.4	-0.2	-0.3	-0.3	-0.3		
コア消費者物価（前期比）	1.2	1.1	0.9	0.6	1.1	1.2	1.0	0.9	0.9	0.8	1.2	0.4	0.2	0.2	0.2		
（前年比）	1.8	2.2	3.4	1.8	2.1	2.1	2.4	3.6	3.4	3.2	2.0	1.7	1.8	2.0	1.9		
食料/アルコール/たばこ（前期比）	1.5	1.9	3.3	0.0	1.7	1.8	2.3	3.6	3.4	3.0	1.6	1.2	1.4	1.7	-		
（前年比）	0.8	0.9	0.8	0.0	1.2	0.9	0.8	0.7	0.9	0.8	-0.0	0.1	0.0	-0.2	-		
たばこ（前期比）	5.0	5.0	5.6	0.0	5.3	5.1	4.7	5.1	5.5	6.2	6.3	6.2	6.0	6.0	-		
（前年比）	-2.1	-1.0	-10.3	-8.1	1.9	-0.3	-4.5	-9.7	-11.9	-9.3	-8.4	-7.8	-8.2	-8.2	-8.4		

注：消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所：Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

